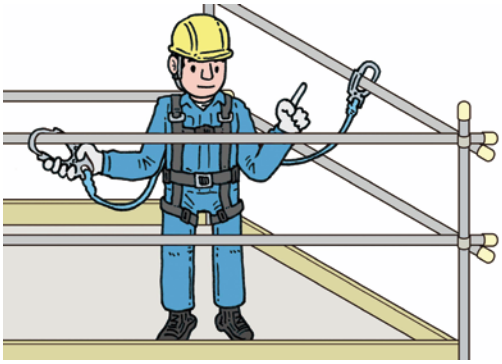
『型枠施工業務』安全衛生のポイント

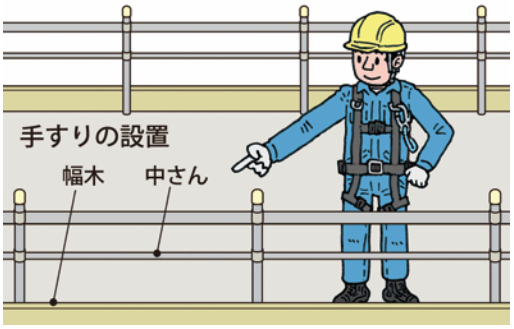
墜落防止措置（開口部等）

（1）墜落防止措置（開口部等）

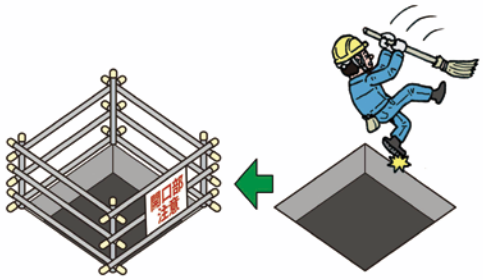
墜落制止用器具（安全帯）を
使用しましょう！



手すりを設置しましょう！



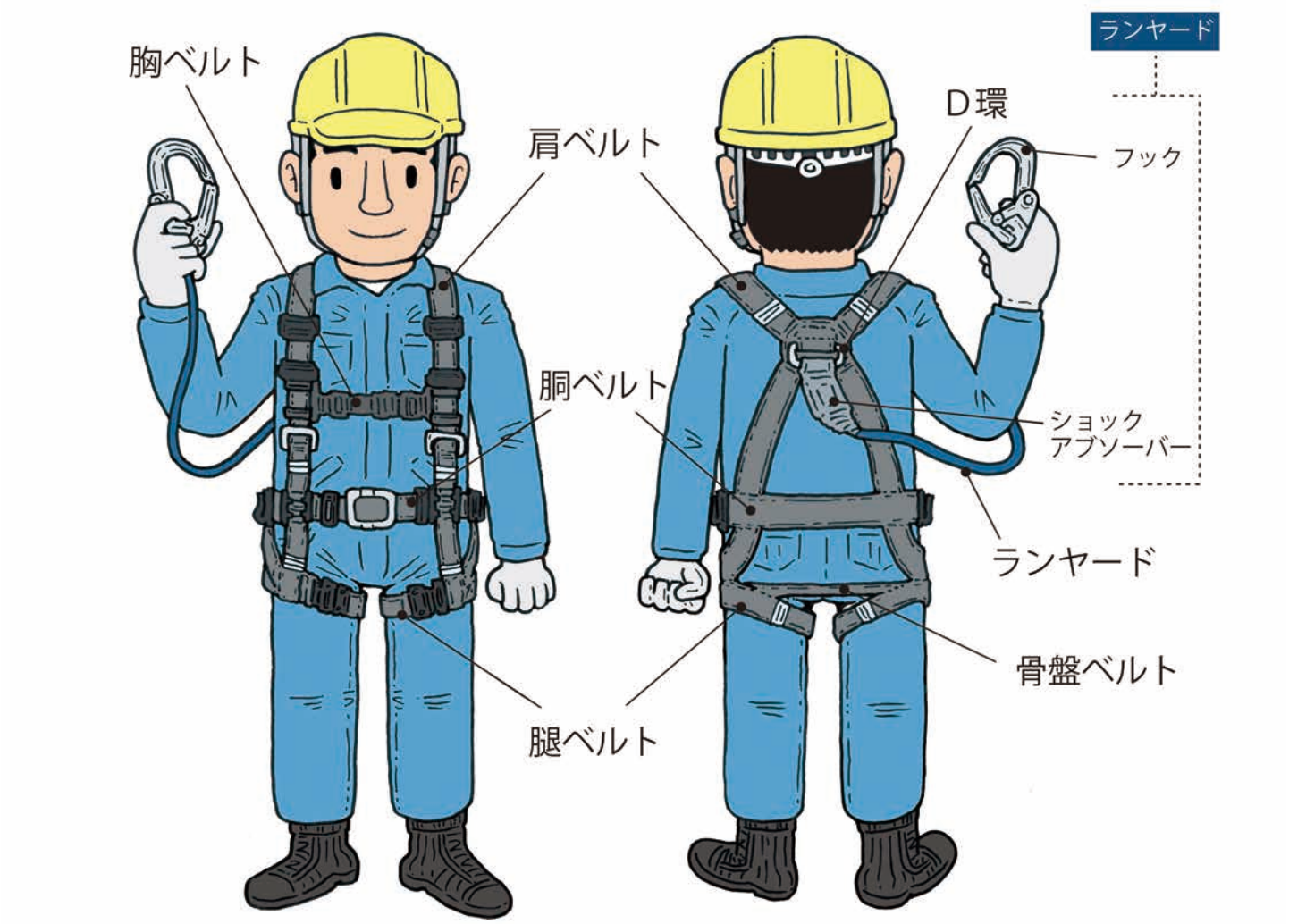
開口部には保安設備（手すり、
ふたなど）を設置しましょう！



手順書を整備・遵守しましょう！

（2）墜落制止用器具（安全帯）

墜落制止用器具（安全帯）



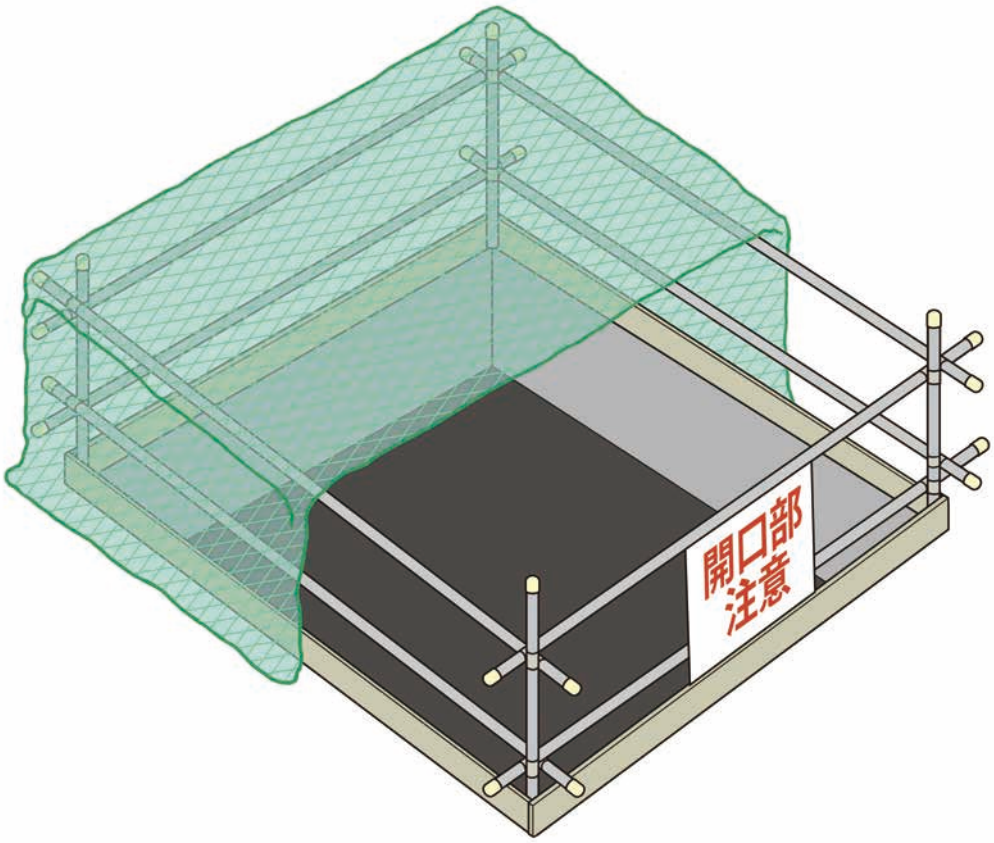
守るべきこと

①高さ 2m 以上の場所では必ず、墜落制止用器具（安全帯）を着用しましょう。

②高さ 5m 以上の場所では、フルハーネス型の墜落制止用器具を使用しましょう。

③高さ 2m 以上の作業床を設けることが困難なところで、フルハーネス型墜落制止用器具を使用するときは、「特別教育」が必要です。

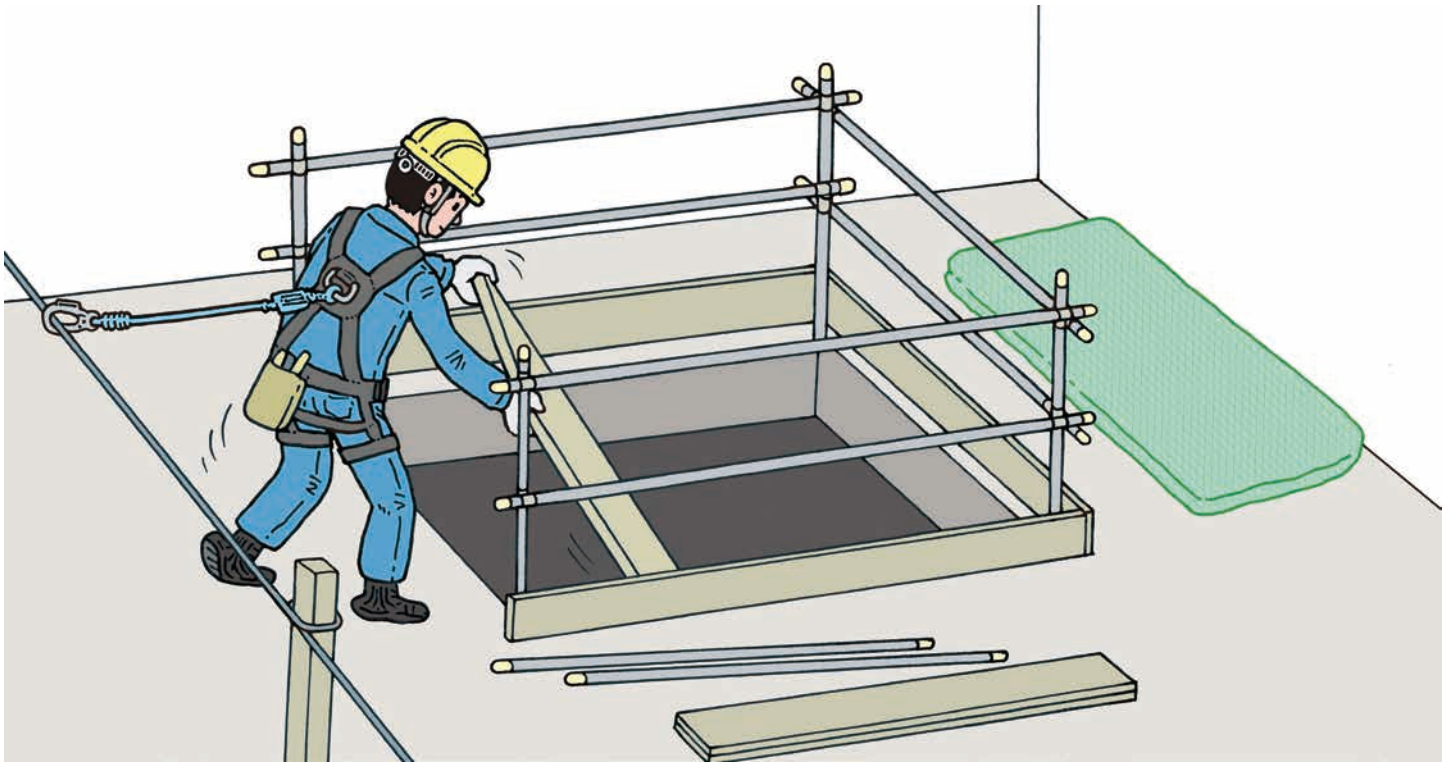
（3）開口部周辺作業



守るべきこと

①開口部周りの照明は明るく保ちましょう。
②飛来落下防止用の養生ネットが設けられていることを確認しましょう。
③高さ 85cm以上の手すりが設けられていることを確認しましょう。
④物の落下防止用幅木が設置されていることを確認しましょう。
⑤開口部付近には材料を置かないようにしましょう。
⑥開口部手すりに材料を載せかけてはいけません。

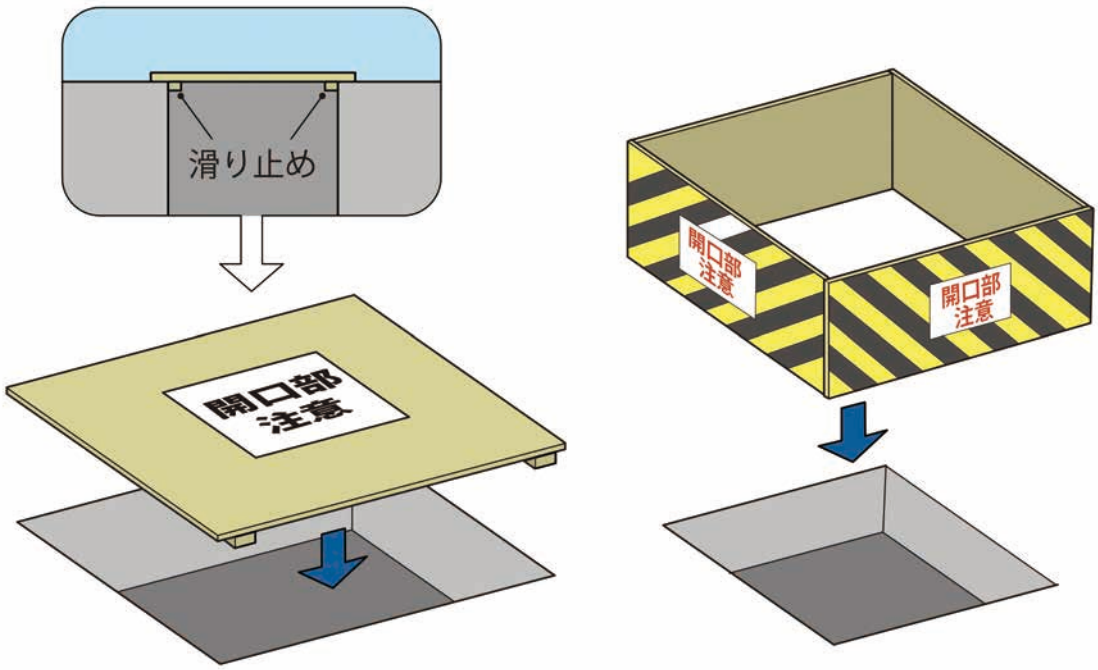
（4）手すりを外す場合



守るべきこと

①手すり等の安全設備を外す場合は、元方事業者の許可を受けたうえで行いましょう。
②墜落制止用器具（安全帯）の使用は予め取付設備を確保して作業しましょう。
③立入禁止措置を行い、第三者が侵入しないようにしましょう。
④作業中断時・作業終了時には、必ず安全設備を復旧し、復旧後の安全性を確認しましょう。
⑤復旧作業終了まで墜落制止用器具（安全帯）を使用しましょう。

（５）床点検口等の開口部の蓋

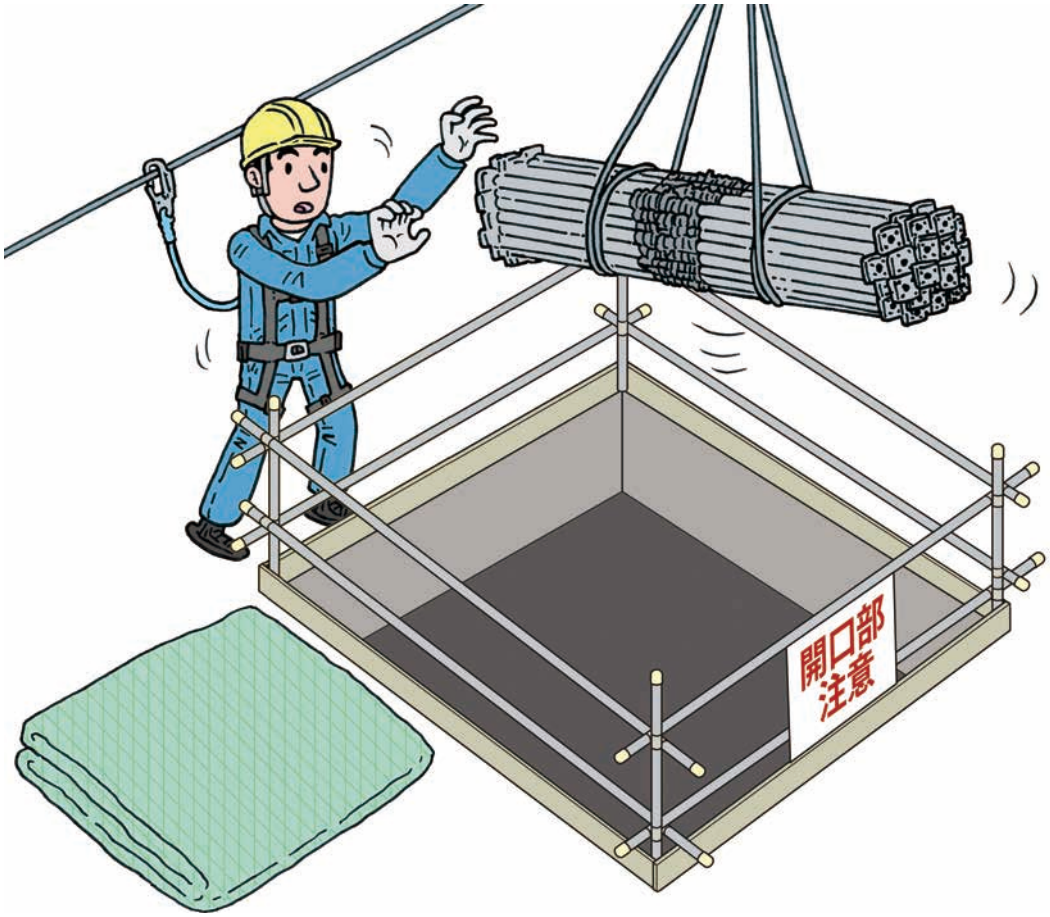


守るべきこと

①ピットなどで作業する必要がある場合は、ダメ穴の周りに囲いや注意表示をしましょう。

②小さな開口などは、強固な材に滑り止めの措置をし、ふたの上に「開口注意」の表示をして開口部をふさぎましょう。

（6）仮設の防護手すり



守るべきこと

①開口部やダメ穴等、墜落の危険性がある場所では、手すり、親綱を設置し、墜落制止用器具（安全帯）を必ず使用しましょう。

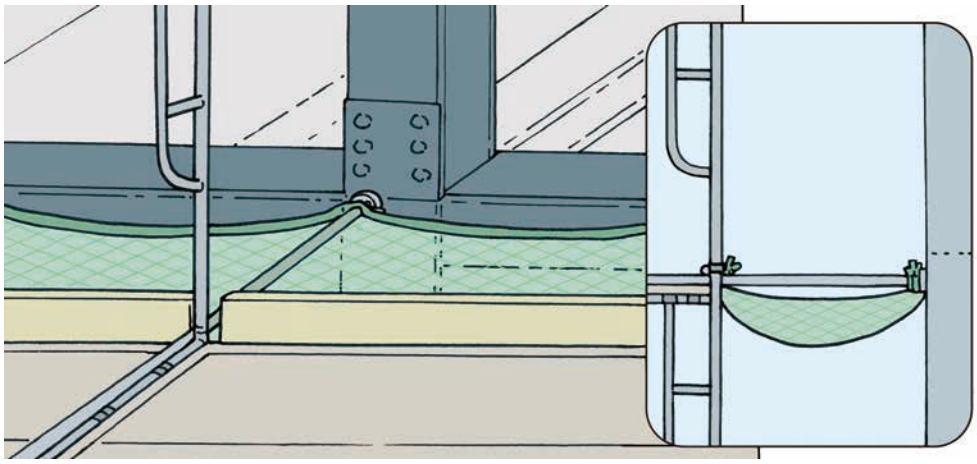
②手すりが作業に支障をきたす場合は、元請けに報告してから撤去し、作業終了後には復旧しましょう。

③手すりを勝手に解体して放置しないようにしましょう。

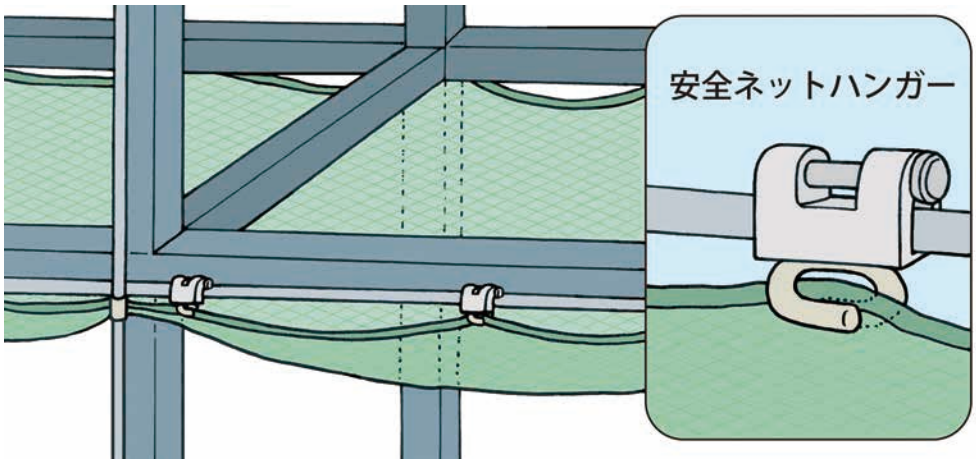
（7）安全ネットによる養生

安全ネットは、足場上での作業中、作業員、道具や工具、材料の落下を防ぐためのものです。

層間養生



開口部水平ネット

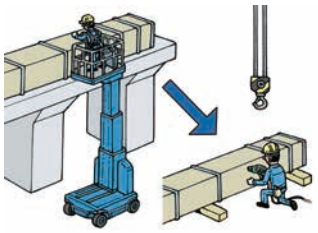


守るべきこと

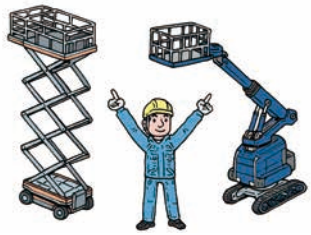
①安全ネットを設置した場合でも、墜落制止用器具（安全帯）を必ず使用しましょう。
②安全ネットは丈夫で損傷がないか確認しましょう。
③ネットはたるみを考慮して張り、下に障害物のないことを確認しましょう。

（8）墜落・転落災害をなくす7つの心構え

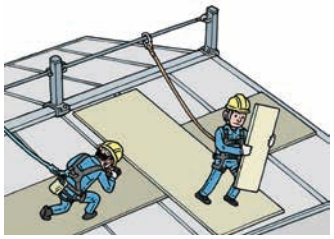
①高所作業を地上や墜落のおそれのない床上での作業に切り替える工夫をします。



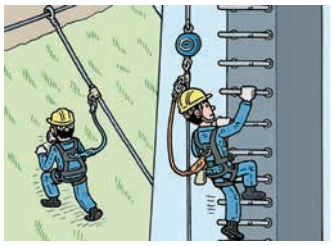
②高所作業の現場環境を考えて、最も安全で使いやすい設備機械を使用します。



③墜落・転落のおそれのあるところでは、必ず墜落制止用器具（安全帯）を使用します。



④安全ブロックなどの墜落防止安全装置を設置し必ず使用します。



⑤使用する設備・機械と保護具の使用前点検を行います。

⑥高齢者や体調不良の作業員は高所作業前に職長等に相談しましょう。

⑦高所作業では、作業前に現地 KY、一人 KY を必ず実施します。